

## 高校の種類・入試制度を知ろう

中学校を卒業すると、どんな上級学校が開かれているのでしょうか。具体的には

- ・高等学校（全日制・定時制）
- ・高等専門学校（いわゆる国立高専）
- ・職業訓練校
- ・通信制やサポート校
- ・専門学校



と言ったところだと思います。あるいは、これらの学校に進学することを選ばずに、就職する人もいます。

まず、高校の種類から見ていきましょう。

### 1 公立高校

公立高校の特徴（メリット）は、学費が安く、地域に根ざした高校、と言えるでしょう。授業料以外に、入学金が（5,650円）と、私立（約10万円）と比較すると非常に安いです。

また、受検料も「2,200円」であるように、私立の「10,000円」と比較しても安いでしょう（30年前と同じお値段です）。

また、農業系、工業系、商業系、水産系の多くは公立高校にあります。

一方、**合格者は必ず入学しなければならない**、という決まりがありますので注意しましょう。

#### 公立の入試制度（実施内容・月は昨年度）

前期選抜 (2月)	面接や作文、独自問題を実施。学力以外に、コミュニケーション力や日頃の生活態度が問われる。
後期選抜 (3月)	3月初旬に2日間に分けて、5教科の全範囲から出題される。市立高校は1日目で5教科、2日目が自己アピール書記入等。

### 2 私立高校

公立と比較すると、学費が高いのが私立高校です。授業料は公立と同様、無償ですが、入学金や施設維持費などで数万円かかります。

私立高校の多くが学校独自の学科（看護科、調理科など）を組んだり、公立にはないクラス編成（特進など）を設けています。部活動に力を入れているのも特徴ですね。受験制度も独特です。

専願	合格者は入学の義務がある。その代わり、一般や奨学よりも専願の方が合格基準が低く設定されている。「私立の〇〇高校に行きたい!」と考えている人にオススメ。
奨学特待	合格者は入学金等の減額などの特典がある。ただし、専願や一般入試より難易度は高め。 一方、最近では受験者数が非常に多い。公立との併願（※）が多い
一般	特典はなし。入学の義務もない。最近では、奨学で合格を勝ち取る生徒が多いので、一般入試の受験者数は少ない。

※併願・・・いくつかの高校をかけもちで受験すること。

第1回進路希望調査で、多くの方が私立高校を書いてきましたが、どの受験制度で受験するか、考えていますか？近いうちにみんなにも教えますので覚えましょう。



私たち3年部の先生方も「この高校にはこんな受験制度がある」ことを学ばなければなりません。かなり大変なんです！

今回はここまで。次回は「国立高専」や「通信制高校」などを特集していきます。

ご家庭からコメント・質問等があればご記入ください。 3年 組 生徒氏名 保護者名